



成岩中学校だより

令和8年2月26日

## 残りの日々を大切に

今年度も、残すところわずかとなりました。校内では、生徒一人一人がこの一年の学習や学校生活を振り返り、自らの成長を確かめながら、残された日々を大切に過ごす時期を迎えています。

3年生にとっては、1月の私立高校推薦・一般入試をはじめ、2月に入ってから公立高校推薦・特色選抜、定時制・通信制入試、公立一般選抜学力検査と、進路に向けた大きな節目が続きました。近年、WEB出願となったことで、戸惑いやご心配を感じられた保護者の方も多かったことと思いますが、大きな混乱もなく、無事に受検を進めることができました。ここまで生徒たちを支えてくださった保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。

現在、3年生は来週の卒業式を控え、特別時間割の中で学校生活を送っています。義務教育最後となるこの日々が、仲間や先生とのかけがえのない思い出として心に刻まれるよう、一日一日を大切に味わいながら過ごしてほしいと願っています。

1・2年生も、修了式まで残り1か月を切り、各教科で一年間のまとめに取り組んでいます。今年度を振り返り、「できるようになったこと」や「粘り強く取り組んできたこと」を確かめるとともに、自分自身の課題に目を向け、次の学年へとつなげていってほしいと思います。

学校としても、本年度の教育活動を丁寧に振り返り、次年度に向けた準備と検討を進めているところです。保護者や地域の皆様から寄せられるご意見を大切にしながら、よりよい学校づくりに努めてまいります。今後とも、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。

## 1・2月の主な活動

### 3年デートDV講座(1/19(月))

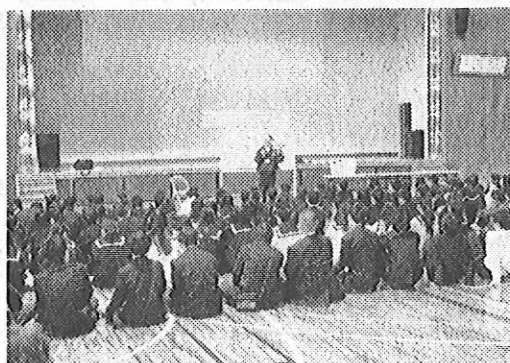
市子育て相談課の方を講師にお招きし、義務教育を終えようとする3年生を対象に、望ましい交際のあり方についてのデートDV講話を行いました。

生徒からは、「人との付き合い方」や「自分を大切にすること」を学ぶことができ、とても勉強になったという感想が寄せられ、将来につながる貴重な時間となりました。

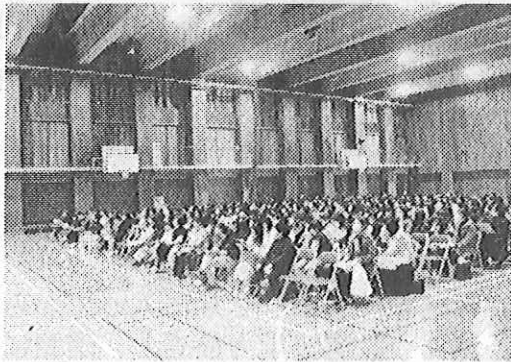


### 1年薬物乱用防止教室(1/22(木))

半田警察署の方を講師にお招きし、薬物乱用防止教室を行いました。近年、脱法ドラッグ等に関するニュースが増える中、薬物の危険性や依存の恐ろしさについて、具体的に学ぶことができました。薬物は一度手を出すと抜け出すことが非常に困難であり、「最初に断ること」が何よりも大切であることを、改めて強く心に刻んでほしいと思います。



## 入学説明会 (1/29 (木))

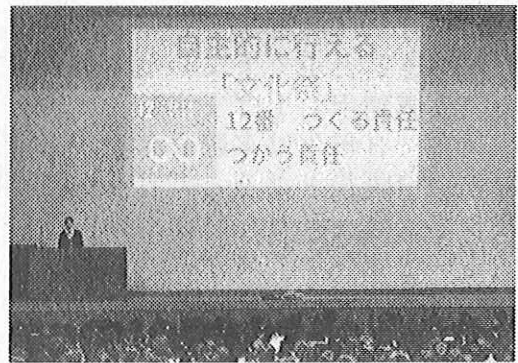


来年度入学予定の6年生と保護者の皆様を対象に、入学説明会を開催しました。小学校との違いや中学校での生活の仕方について、少し先の学校生活を思い描いていただけるよう、担当より丁寧に説明を行いました。6年生の児童は、期待と緊張が入り交じる中でも、良い姿勢で最後まで真剣に話を聞くことができ、その姿から中学校生活への意欲が感じられました。

4月の入学式で皆さんの元気な姿に会えることを、教職員一同心から楽しみにしています。

## 全校集会 (2/2 (月))

各種表彰に続いて、生徒会サミットの振り返りが行われました。市内5中学校の生徒会代表が集うこのサミットで学んだことをもとに、他校で行われている特色ある実践などが紹介されました。生徒会執行部からは、そうした取組を本校でも参考にしながら、自分たちの力でよりよい学校をつくっていききたいという前向きな思いや今後の活動への意欲が語られました。



## 後期生徒総会 (2/5 (木))



後期の生徒総会が行われました令和7年度の決算報告や委員会・執行部の活動、予算の執行状況、来年度に向けた提言が発表されました。発表に向けた準備や、真剣に参加する生徒の姿から、自分たちの手で学校をよりよくしていこうとする思いが伝わってきました。学校生活を向上させるための目標や行動を改めて確認する有意義な機会となりました。

## 生徒が考案した給食メニュー (2/19 (木))

アジア競技大会・アジアパラ競技大会開催を記念した「地元産食材×アジア料理」給食メニューとして、本校の青木七海さん(2年)が考案した料理が選ばれ、本日の給食で提供されました。この日は給食センターの方も取材に来られていました。生徒たちは地元食材を生かした特別メニューをおいしく味わいました。

### 【献立名】

半田の酔入りヤンニョム風チキン (主菜)

### 【概要】

韓国の人気料理・ヤンニョムチキンを、八丁味噌と酔でアレンジした、地元ならではの一品です。





成岩中学校だより

令和8年3月13日

## 成岩中学校第79回卒業式

3月6日（金）、第79回卒業式を執り行いました。卒業証書授与の際の力強い返事、心を込めて語られた卒業のことば、そして思いのこもった卒業の歌。その一つ一つから、これまでの学校生活への思いと支えてくださった方々への感謝の気持ちが伝わり、卒業生の姿はとても立派でした。

また、式に出席した1・2年生の生徒たちも、その姿をしっかりと目に焼きつけ、感謝の気持ちを伝えようと最後まで真剣な態度で臨んでいました。

卒業生の皆さんのこれからのご活躍を祈念するとともに、1・2年生の皆さんが、卒業生の姿から学んだことをこれからの学校生活に生かしていってくれることを期待しています。



【卒業生入場】



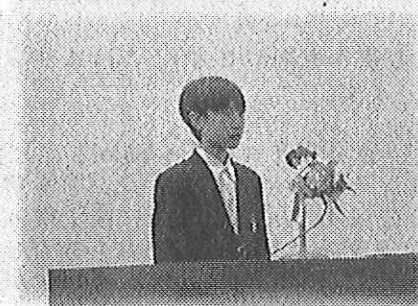
【卒業証書授与】



【校長式辞】



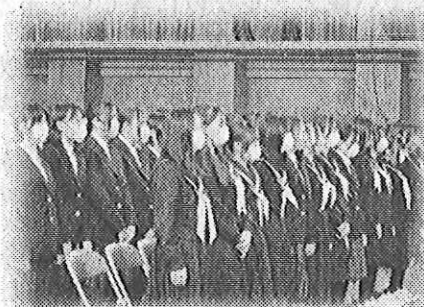
【教育委員会告示】



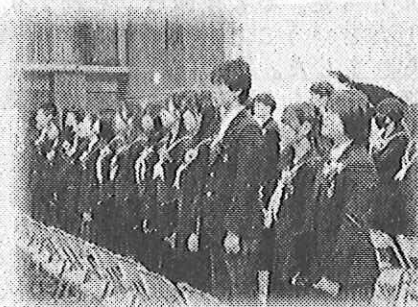
【在校生代表送別の言葉】



【卒業生代表卒業の言葉】



【卒業の歌（在校生）】



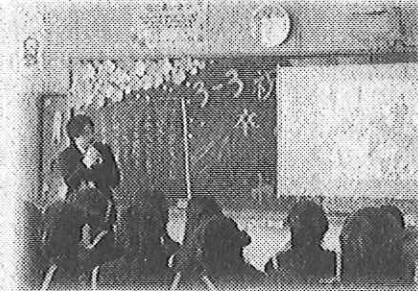
【卒業の歌（卒業生）】



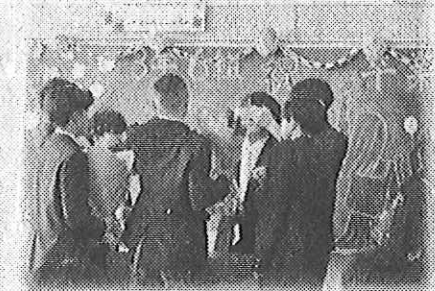
【卒業生退場】



【学活の様子】



【学活の様子】



【学活の様子】

## 第79回成岩中学校卒業式 式辞

暖かな日と寒い日を交互に繰り返しながら、季節はゆっくりと、しかし確実に春へと向かっています。本日はご多用の中、半田市教育委員会委員 桂 優子様をはじめ、ご来賓の皆様、そして多くの保護者の皆様にご臨席を賜り、誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。教職員を代表し、心からお祝い申し上げます。皆さんが成岩中学校に入学した日のことを覚えていますか。少し大きめの制服に身を包み、不安と期待を胸に校門をくぐってきましたね。あの日の皆さんが三年の時を経て、今こうして凜とした表情で卒業の日を迎えている。その姿を前に、私は大きな喜びと誇らしさを感じています。

この三年間、皆さんは、授業はもちろん、委員会活動や部活動、ひまわり祭、野外活動、修学旅行など、仲間と多くの時間を重ねてきました。楽しいことや嬉しいことも、たくさんあったことでしょう。その一方で、気持ちがすれ違い、悔しさを味わったこともあったはずで。迷い、立ち止まり、自分と向き合った時間もあったことでしょう。それでも皆さんは、投げ出すことなく、一步一步、歩み続けました。その積み重ねが、今の皆さんの姿につながっています。

今日は卒業にあたり、これからの人生を歩む皆さんに、心に留めてほしいことを二つお話します。

まず、一つ目です。それは、「これからの時代を生き抜くために、大切なこと」についてです。

皆さんが進む社会は、これまで以上に変化の速い時代です。分からないことがあれば、ChatGPTなどのAIに尋ねれば、瞬時に答えが示される時代でもあります。けれども、だからこそ忘れないでほしいことがあります。

それは、「まず自分で考えること」です。「自分は思うのか」「自分はどうしたいのか」。すぐに答えを求めるのではなく、立ち止まり、自分の頭で考える。その時間が、皆さんの判断力を育て、生きる力を強くしていきます。

そしてもう一つ。「人に頼ることができる強さをもつこと」です。本当に悩むとき、本当に迷うとき、そこには簡単な正解はありません。そんなとき支えになるのは、画面の向こうの言葉ではなく、そばにいる人のまなざしや声、そしてぬくもりです。困ったときには、どうか誰か頼り、相談してください。また、そのためにも、日頃から人とのつながりを大切に、感謝の気持ちを忘れずに、「ありがとう」と周りの人に伝えられる人でいてください。その一言が人と人との絆を深め、やがて皆さんの人生を支える大きな力となります。

「自分で考えること」「人に頼る強さをもつこと」。この二つを大切にしながら、これからの時代を生き抜いてほしいと願っています。

そして、二つ目です。それは、「自分自身の成長を認めること」についてです。

二週間ほど前、ミラノ・コルティナ冬季オリンピックが幕を閉じました。選手たちの真剣な姿は、私たちの心を何度も揺さぶりました。その中で、私の心に強く残ったのが、フィギュアスケートの坂本花織選手の言葉です。坂本選手は金メダルを目指し、全力を尽くしました。結果は銀メダル。決して小さな成果ではありません。しかし本人にとっては、大きな悔しさが残る結果だったことでしょう。その坂本選手は、こう語りました。

「前は奇跡のような銅メダルだった。でも今回は、それよりもよい銀メダルなのに悔しい。そう思えるのは、それだけ自分が成長したということ。この四年間、頑張ってきた自分を認めてあげたい。」

私は、この言葉に深く心を打たれました。目標に届かなかった事実よりも、そこに至るまでの努力と歩みを見つめる姿勢。他人の評価ではなく、自分自身が自分を認める強さ。それこそが、本当の意味での「成長」なのだと思います。

卒業生の皆さん。これから先、思うようにいかないと感じることもあるでしょう。期待どおりの結果が出ないこともあるかもしれません。けれど、その経験は決して無駄ではありません。皆さんはその度に力をつけ、視野を広げ、確実に前へ進んでいます。どうか、自分の努力を自分で認められる人でいてください。その姿勢が、自分らしく生きる力となり、やがて人生の確かな幸せへとつながっていくはずで。自分自身の成長を信じ、これからの道を、自信をもって歩いていくことを願っています。

保護者の皆様、改めて、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。立派に成長されたお子様の姿をご覧になり、喜びもひとしおかと思えます。心より、お祝い申し上げます。この三年間、教職員一丸となって卒業生の成長を見守りつつ、精一杯努力を重ねたつもりではありますが、時には至らない点もあったかと思えます。それにもかかわらず、本校に対しましてご理解ご協力をいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

さあ、卒業生の皆さん、次の新たなステップに向かって、胸を張って、笑顔で旅立ってください。成岩中学校で三年間頑張ってくれた、素敵な皆さんとの出会いに心から感謝するとともに、皆さんのご健勝とご活躍を祈念し、第79回卒業式の式辞といたします。

令和八年三月六日

半田市立成岩中学校長 井本 仁